



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社
 コード番号 6958 URL <http://www.cmk-corp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高井 建郎

問合せ先責任者 (役職名) 事務管理部長 (氏名) 岡部 明広

TEL 03-5323-0235

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	17,503	1.3	△283	—	△488	—	△473	—
27年3月期第1四半期	17,271	2.8	42	—	△45	—	△167	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △130百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △709百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△8.00	—
27年3月期第1四半期	△2.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	96,156	59,225	57.8
27年3月期	99,175	59,651	56.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 55,540百万円 27年3月期 55,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当予想につきましては、未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	1.7	1,500	134.0	1,100	△27.3	700	△40.6	11.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	63,060,164 株	27年3月期	63,060,164 株
28年3月期1Q	3,860,233 株	27年3月期	3,860,071 株
28年3月期1Q	59,200,046 株	27年3月期1Q	58,744,089 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国は個人消費や雇用情勢の改善など好調に推移しましたが、欧州ではギリシャの債務問題に対する不透明感が残りました。また、中国では個人消費や設備投資の成長鈍化など景気減速懸念が高まっており、東南アジアも景気の拡大は総じて力強さに欠ける状況となりました。

国内経済では、雇用環境や設備投資で持ち直しの動きがみられるものの、輸出や鉱工業生産などが鈍化し、全体としては緩やかな回復に留まりました。

このような経済環境のなか、当社グループの市場別販売状況は、自動車関連製品においては、国内での一部顧客の生産調整などにより売上が減少した一方、アミューズメント、試作品などの売上が増加しました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は175億3百万円、前年同期比2億31百万円(1.3%)の増収となりました。

利益面につきましては、日本及び中国において収益が悪化し、営業損益は2億83百万円の損失(前年同期は42百万円の営業利益)、経常損益は為替差損等の影響により、4億88百万円の損失(前年同期は45百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は4億73百万円の損失(前年同期は1億67百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(日本)

販売面では、通信関連機器(スマートフォン)及びアミューズメント向けの売上が増加しましたが、顧客の生産調整の影響などにより自動車関連製品の売上が減少したことに加え、デジタルカメラ向けの受注減少により、カメラ分野の売上も減少しました。その結果、売上高は104億41百万円(前年同期比2.8%減)となりました。利益面では、生産性の改善や原価低減等を推進したものの、売上高の減少による影響をカバーするに至らず、87百万円の営業損失(前年同期は53百万円の営業利益)となりました。

(中国)

販売面では、自動車関連製品及びアミューズメント向けを中心に売上が増加した結果、売上高は35億20百万円(前年同期比9.1%増)となりました。利益面では、受注変動による生産効率の悪化等が影響し、1億49百万円の営業損失(前年同期は1億19百万円の営業利益)となりました。

(東南アジア)

自動車関連製品とアミューズメント向けの売上が堅調に推移した結果、売上高は23億29百万円(前年同期比9.6%増)となりました。利益面は、タイ工場のビルドアップ基板の受注増加及び歩留まりの改善が収益性の向上に寄与し、営業利益は49百万円(前年同期は61百万円の営業損失)となりました。

(欧米)

米国の景気回復を背景に、自動車関連製品の受注が堅調に推移し、売上高は12億11百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は44百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、475億37百万円となりました。これは、主に有価証券が25億91百万円、受取手形及び売掛金が20億28百万円それぞれ減少し、現金及び預金が26億48百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、486億8百万円となりました。これは、主に有形固定資産が7億12百万円減少し、投資有価証券が3億16百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、961億56百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.8%減少し、289億51百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が28億95百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.0%増加し、79億79百万円となりました。これは、主に長期借入金が増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、369億31百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、592億25百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,564	17,213
受取手形及び売掛金	21,552	19,524
有価証券	2,647	56
商品及び製品	4,441	4,820
仕掛品	3,148	2,803
原材料及び貯蔵品	1,659	1,587
その他	2,358	1,592
貸倒引当金	△170	△60
流動資産合計	50,201	47,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,501	14,173
機械装置及び運搬具(純額)	14,985	14,344
土地	9,972	9,941
建設仮勘定	511	619
その他(純額)	1,125	1,305
有形固定資産合計	41,096	40,383
無形固定資産		
のれん	301	292
その他	446	423
無形固定資産合計	748	716
投資その他の資産		
投資有価証券	3,380	3,697
退職給付に係る資産	495	569
その他	3,287	3,290
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	7,115	7,508
固定資産合計	48,959	48,608
繰延資産		
社債発行費	13	9
繰延資産合計	13	9
資産合計	99,175	96,156

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,441	9,545
短期借入金	8,673	8,848
1年内償還予定の社債	4,500	4,500
未払法人税等	74	58
賞与引当金	262	400
事業構造再編費用引当金	207	205
その他	6,303	5,394
流動負債合計	32,463	28,951
固定負債		
長期借入金	5,527	6,010
退職給付に係る負債	44	45
資産除去債務	160	160
その他	1,328	1,762
固定負債合計	7,060	7,979
負債合計	39,523	36,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	22,063	22,063
利益剰余金	10,603	9,834
自己株式	△3,132	△3,132
株主資本合計	51,841	51,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	887	1,098
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	2,915	3,085
退職給付に係る調整累計額	286	284
その他の包括利益累計額合計	4,088	4,469
非支配株主持分	3,721	3,684
純資産合計	59,651	59,225
負債純資産合計	99,175	96,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	17,271	17,503
売上原価	15,388	15,800
売上総利益	1,883	1,702
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	620	687
役員退職慰労引当金繰入額	0	—
賞与引当金繰入額	31	34
退職給付費用	13	9
その他	1,174	1,254
販売費及び一般管理費合計	1,840	1,986
営業利益又は営業損失(△)	42	△283
営業外収益		
受取利息	20	18
受取配当金	36	36
貸倒引当金戻入額	0	87
その他	67	39
営業外収益合計	124	182
営業外費用		
支払利息	98	94
為替差損	42	216
その他	71	75
営業外費用合計	213	387
経常損失(△)	△45	△488
特別利益		
固定資産売却益	3	0
受取保険金	—	43
補助金収入	—	22
特別利益合計	3	65
特別損失		
固定資産売却損	0	12
固定資産除却損	5	13
損害賠償金	4	34
その他	0	—
特別損失合計	10	60
税金等調整前四半期純損失(△)	△52	△483
法人税等	73	33
四半期純損失(△)	△125	△516
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	41	△42
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△167	△473

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△125	△516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	211
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△687	175
退職給付に係る調整額	1	△1
その他の包括利益合計	△583	385
四半期包括利益	△709	△130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△603	△93
非支配株主に係る四半期包括利益	△106	△37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,736	3,225	2,126	1,183	17,271	—	17,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	629	1,732	1,226	—	3,588	△3,588	—
計	11,366	4,958	3,352	1,183	20,860	△3,588	17,271
セグメント利益又は損失(△)	53	119	△61	46	158	△115	42

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△115百万円には、セグメント間取引消去77百万円、全社費用△193百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,441	3,520	2,329	1,211	17,503	—	17,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	787	1,977	1,645	—	4,410	△4,410	—
計	11,228	5,498	3,975	1,211	21,913	△4,410	17,503
セグメント利益又は損失(△)	△87	△149	49	44	△141	△142	△283

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△142百万円には、セグメント間取引消去101百万円、全社費用△243百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。